## **‴海外作品**



◆ブラジル

ブラジルの空もまつ青終戦日 山本 幾彌



▲ブラジル

南極の風におされて冷雨来る 新井 ブラジルの時間はゆっくり鰯雲 木原 昌靖 百才まで働くつもり春耕す ブラジルの大地に老いて種を蒔く

均 佐藤けい子 広田 ユキ



◆ブラジル

アマゾンの椰子で編みたる夏帽子 新井 知里 永らえて今幸せや銀河澄む 下小蘭蓉子 ◆タイ

風灼くるクウェー鉄橋まのあたり 原田 佳和



●ブラジル

無 尽 蔵 ア マ ゾ ン 樹 林 青 嵐 青木 駿浪 歳古りてまろぶ無念や秋の風 浅海 護也 邦人の足跡辿る韮の花 新井 範明 共に在るそれが力よ鳥渡る 西 朋子 ふる里も風の便りや移民老ゆ 伊藤えい子 細紐も衣装に踊るカーニバル 伊藤えい子 大豆刈る天まで届く土埃 井上 人栄 アマゾンのこの良き風よ草紅葉 大槻 京子 椰子の月先のいくさの兵の墓 香山 和榮 小斎 棹子 椰子の風もう帰る事なかるべし 忘れえぬ一代でありし雪ばんば 小斎 棹子 コーヒーの花子供移民も老いにけり 小村 広江 秋風や又一つ消す住所録 須賀吐句志 連邦旗州旗なびかせ東風の吹く 武田 知子 とは言へど矢張りこたへる南風 武田 知子 風吹けば俄夕立すぐにやみ 谷口 菊代 歩かぬと歩けなくなるたんぽぽ黄 檀 正子 花イペー風に散るかな重たげに 正子 冬の風体感四、五度引下げる 土居 洋三 いそしみて余生楽しむ初句会 富岡 絹子 ブラジルの風にも元気鯉のぼり 長瀬 幸子 アマゾンは地球のまん中風みどり 長瀬 幸子 おでん屋であたたかくなり一人旅 日高パウロ 台風に祖国を想うテレビニュース 廣瀬美知子 パラリンピック笑顔の行進風光る 古屋 房子 強東風の巻き起こりたるリオ五輪 前田 昌弘 アマゾンの樹海に注ぐ大夕立 前田 昌弘 思いやりある子に育て鯉のぼり 三宅 昭子 移住五十年アマゾンの風さわやかに 三宅 竜子 日本酒の函うつくしや春うらら 森川 玲子 アマゾンの暑さをいやす風が好き 山岡 宏子

遠雷と風に乾季も終るらし 山根 敦枝

板壁の今は懐かしすきま風 夏祭り風が広げし太鼓の音 吉田 夏絵 ●アメリカ

秋風にテントを広ぐ朝の市 空高し牧場犬の群を統ぶ 土砂降りの後は晴天黄水仙 そよ風に池の面ゆれて月泳ぐ コリンズアキ子 蜂鳥や涼風背なに旅急ぎ 朝顔の藍淡くして国遠し ぶだう摘む葉風眩しく裏返り 台風に傘奪われてなお歩く 夫癒えてほっと安堵の月今宵 風の子や見上ぐる先は大銀河 涼風に走る乙女の髪なびく 菖蒲湯や五右衛門風呂と祖父の膝 試歩の身に触れてくるまる秋の風 ●タイ

敬老席未だ馴染めず運動会 スコールに露店を畳む手際かな ◆ドイツ

C D の 銀 盤 吊 し 鳥 威 ホボーム希子 ●フランス

旅の鞄おけば色なき風の丘 伊藤 惠子 ◆カナダ

風の音も流るる雲も秋うらら 渕上 幸江

吉田しのぶ

さくはらあや さくはらあや 小園 允子 佐久間量子 高岡 啓子 高岡 啓子 高田 梨絵 津加山春子 中野 詩万 樋口 馨 樋口 正子 山中眞知子

忠 瀬能 原田 佳和